

1 相良村コミュニティ・スクール、学校と地域の連携

5月29日、相良村コミュニティ・スクールの会議が開催されました。本年度新設された組織で、相良村教育委員会が事務局となり、村内3つの小中学校から計18名が委嘱状を受け委員となりました。メンバーは、保護者代表、地域住民代表、校長と教頭です。コミュニティ・スクールとは、「地域とともにある学校づくり」のため、学校と地域の連携を推進していく組織です。今回は、学校運営に関して各校長が説明を行い、承認をいただきました。今後、授業参観等を通して、ご意見等をいただきながら、よりよい学校運営を推進していきたいと考えています。本会の中で、高田PTA会長から「説明資料を保護者や地域の皆様にも共有できないか。」との要望がありました。ありがたいです。そこで、説明資料を相良中HPにて紹介しました。令和5年度相良中学校のビジョンです。下の資料は、24枚のプレゼン資料の17枚目の資料です。残りは相良中HPでご覧いただけるとありがたいです。

(2)「挑戦できる学校」を創りましょう
③任せる、見守る、そして、関わる



(生徒会発案)給食時、生徒会が、映像をもとに、遠足レクを説明している



2 生活交通委員長の話、「自転車・徒歩通学100%」

5月30日、交通教室の最後は、「生活交通委員長の話」でした。西みゆりさんのスピーチ内容を紹介します。

「私たち生活交通委員では『自転車・徒歩通学100%』を目標に今年活動していこうと思います。去年自転車で登校する生徒が少なかったため、自転車で来る生徒を増やしたい

と思い目標を立てました。私は考えました。なぜ、こんなに自転車で通学する生徒が少なかったのか。なぜだと思いますか。(数人に答えてもらった後)相良は坂が多いので大変だし、保護者の方も雨が降ると心配されて送ってこられる方が多いと思います。しかし、がんばって自転車や徒歩で登校してほしいです。今現在、自転車・徒歩通学が90%ぐらいです。特別な事情があるとき以外は、がんばって自転車や徒歩で登校しましょう。」



3 第1回3年生校内実力テスト、テストは「確認する場」

5月25日、第1回3年生校内実力テストが行われました。担任の中満先生が、黒板に次のメッセージを書いていました。

「1・2年生の学習内容です。自分の実力を出す、実力を知る、大切なテストです。最後の一瞬まで頑張ろう！」

その通りです。テストは「確認する場」なのです。「分かっていること」と「分かっていること」を確認する場なのです。分かっていることが「課題」であり、この課題を今後改善していくことが「成長」なのです。家庭学習では、「分からなかったこと(課題)」に積極的に取り組んでいって、成長につなげてほしいです。

